

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

令和6年2月定例会の内容をお届けします。

2024
No. 93

令和6年5月15日発行



特集

子ども用
電動バイク
&
市議会



特集

子ども用 電動バイク & 市議会

島田市中央公園周辺で
子ども用電動バイクコースを
オープンした
事業者の皆さんに
お話を伺いました。



ドリップテクノワークスの山内義之さん
やまうちよしゆき

子どもたちの運動スキル向上と

地域活性化を目指して

2024年3月20日、新たなスポットとし

て、島田市中央公園周辺に、子ども用電動バイクコースがオープンしました。

ここ数年、地球環境や住環境への配慮から注目を集めている電動バイク。当市でも、昨年秋に、このような新モビリティを使った移動に関する実証実験を実施したところです。

今回、コースを運営している事業者の皆様からお話を伺いました。

この場所を選んだ理由は何ですか？

ここは中央公園やローズアリーナがあり、さまざまなスポーツを楽しめるエリアです。例えば、休日に家族でエリアを訪れてもらい、その中でモータースポーツにも触れていただければと思います、新たな取り組みに挑戦してみました。

電動バイクはどのような乗り物ですか？

エンジンバイクに比べ、静かで軽いです。た

だ、もちろんスピードは出ますので、子どもや初心者向けに、アプリなどで遠隔操作やパワー設定ができるようになっていきます。

電動バイクに乗る魅力は？

スポーツ全般に言えることですが、運動スキル向上や幅広い交流を通じ、子どもの健全な育成に大きく寄与するところです。先日のオープニングイベントでも、三重県や愛知県在住の子



どもたちが参加してくれて、レースを通じ交流を深めていました。

今後、どのような活動を展開していきたいですか？

電動バイクのレースは全国的にもあまり聞かないので、先駆けて開催していきたいです。全国や世界に向けて、島田市をPRできたらと思っています。また定期的に競技イベントを開催することで、島田市の宿泊施設や飲食店に貢献できればと思います。せっかくのコースですので、電動バイクだけでなく、マウンテンバイクやラジコンなどのレースにも利用していただけるよう、PRを含め取り組んでいきたいです。あと、大人向けの電動バイクも調達したいです。

今後、活動していく上で県・市に望むことはありますか？

静岡県は大手バイクメーカーがあるにも関わらず、レースができるコースが少ない地域です。富士山静岡空港、JR、2つの高速道路と、交通アクセスは抜群の地域ですので、例えば空港周辺にコースができれば、必ず多くの人が集まってきます。モータースポーツを通じて、全国や世界に「静岡県を」「島田市を」もっともっとアピールしていただくことで、交流人口を増やし、地域活性化につなげていただきたいと思います。

定例会 の 概要

令和5年度一般会計補正、 令和6年度当初予算などを可決

令和6年2月市議会定例会を2月14日(水)から3月27日(水)まで、43日間の会期で開催しました。

2月14日(水) 本会議初日 9議案などを上程

専決処分報告1件、令和5年度各会計補正予算案5件(一般会計2件、特別会計2件、企業会計1件)、条例案2件、一般議案1件を上程しました。また各議案の詳細な審査のために、予算・決算特別委員会、各常任委員会に審査を付託しました。

2月15日(木)～16日(金) 予算・決算特別委員会各分科会、 常任委員会の議案審査

厚生教育、経済建設、総務生活の予算・決算特別委員会各分科会および常任委員会を分散開催し、付託された令和5年度補正予算案などの審査を行いました。

2月20日(火) 予算・決算特別委員会の議案審査

3分科会の分科会報告、議案の採決を行いました。

2月27日(火) 本会議 8議案を可決 21議案を上程

2月14日に上程した8議案を可決しました。また令和6年度当初予算案(一般会計1件、特別会計6件、企業会計3件)のほか、条例案9件、一般議案2件を上程しました。

3月6日(水)～8日(金) 代表質問・個人質問 議員15人が登壇

6会派の代表者による質問と、議員9人による個人質問を行いました。(11ページ～18ページ)

3月12日(火) 議案質疑 1議案上程

議員8人が登壇し、議案の詳細について質疑を行いました。また令和6年度一般会計補正予算案1件を上程しました。(5ページ)

3月13日(水)～15日(金) 予算・決算特別委員会各分科会、 常任委員会の議案審査

厚生教育、経済建設、総務生活の予算・決算特別委員会各分科会および常任委員会を分散開催し、付託された令和6年度当初予算案などの審査を行いました。

3月21日(木) 予算・決算特別委員会の議案審査

3分科会の分科会報告と議案の採決を行いました。

3月27日(水) 本会議最終日 追加議案を含め25議案を可決

予算・決算特別委員会および3常任委員会での審査内容について、各委員長が報告しました。また議員による討論を行い、採決の結果、22議案を可決しました。このほか専決処分の報告2件と人事案件2件、議員発議による条例案1件が追加提出され、これらの議案もすべて可決しました。(22ページ～23ページ)

Pick up 1

空港周辺プロジェクト推進について

Q 事業内容と経費の内訳を伺う。

A 旧金谷中学校跡地活用事業における、土地の造成や調整池の整備にかかる費用、駐車場の整備、市民に開かれた多目的スペースの整備に対する補助金約5000万円と、周辺の草刈り、仮設の外周柵の撤去費用約200万円である。

Q 補助金の財源と静銀リース(株)が事業を開始する時期を伺う。

A 5000万円のうち2500万円は、県の静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業費補助金を見込んでいる。開業の期限は、募集要項で令和8年3月31日までと定めている。

Pick up 2

緑茶縁日実施経費について

Q 事業の経緯と開催場所を都内にした理由を伺う。

A これまで首都圏の会社員・経営者やファミリーをターゲットに市の魅力をPRし、市内業者・飲食店などの支援や地域経済の活性化を目的に実施してきた。東京都内、特に東京駅周辺は、休日は全国からの観光客、平日はビジネスパーソンの利用が多く、幅広い層に島田市をアピールできる場所として選定した。

Q 事業による成果はどうか。

A 令和4年度に行った緑茶縁日をきっかけに、商品の販路が拡大した事例がある。事業拡大や売り上げの向上を目指す。

Pick up 3

U-Jターン就職促進事業について

Q 新たに地方就職学生支援金を加えた経緯を伺う。

A 大学卒業後に地方に移住、就職する学生を対象に支援することで、若者の地方移住を促進する。

Q 交通費の補助を受けるための条件はどのようなものか。

A 都内に本部がある大学の首都圏のキャンパスに4年以上在学し、卒業後に静岡県内に就職、市内に移住する意思のある者。

Q 支援内容と申請方法を伺う。

A 就職活動に伴う往復交通費を補助する。国・県・市の補助金だが、申請から交付まで市が一括窓口となる。

Pick up 4

後期高齢者医療保険料について

Q 後期高齢者医療保険料の改定内容を伺う。

A 均等割額は1人当たり4万2500円から4万7000円に、所得割率は8・29%から9・49%に改定される。

Q 保険料軽減措置の内容を伺う。

A 保険料軽減措置対象者の均等割額の軽減割合別の見込み人数は、7割軽減が6098人、5割軽減が2832人、2割軽減が2249人である。軽減の総額は、約2億9488万円で、1人当たりの平均軽減額は、2万5915円である。



令和6年度予算を可決しました

島田第一小学校改築、重層的支援体制の整備を推進!

一般会計予算

417億円
(前年度比29億9,500万円減)

特別会計予算
公営企業会計予算

435億7,299万円
(前年度比1億1,323万円増)

総額予算

852億7,299万円
(前年度比28億8,177万円減)

令和6年度に行う事業の予算案が市長から議会に示され、3月13日～15日の3日間で開催された予算・決算特別委員会の3つの分科会で審査を行いました。3月21日の同委員会で「可決すべき」と決し、3月27日の本会議最終日に原案のとおり可決されました。

また、特別会計、公営企業会計についても、委員会審査を経て、本会議最終日に可決されました。その一部を紹介します。

総務費 13.8% 57億5,592万円

総務管理費	46億3,364万円
交通安全対策費	4億5,420万円
徴税费	4億2,060万円



島田市コミュニティバス

老朽化したバス車両の更新

新たな公共交通計画に基づき、令和5年度同様の運行体制を確保するとともに、老朽化したバス車両を更新します。

民生費 35.4% 147億7,450万円

児童福祉費	69億4,940万円
社会福祉費	63億9,463万円
生活保護費・医療福祉費	14億3,006万円



包括的窓口（イメージ図）

重層的支援体制の整備

制度や分野の枠を超えた困り事を包括的に受け止め支援する、重層的支援体制の整備に取り組みます。

教育費 10.9% 45億3,299万円

幼稚園費・小学校費・中学校費	16億3,818万円
保健体育費	12億1,697万円
社会教育費	10億5,859万円



島田第一小学校

小学校・中学校の施設を整備改修

島田第一小学校は、新校舎・屋内運動場が完成し、新グラウンドの整備、南側道路などの整備を実施します。

衛生費 11.1% 46億2,932万円

保健衛生費	24億1,354万円
清掃費	22億1,578万円



クリーンセンター

水環境を守る

クリーンセンター、住宅団地汚水処理施設の計画的な維持管理、環境美化活動への支援などにより水環境を守ります。

土木費 8.7% 36億4,176万円

道路橋りょう費	14億 160万円
都市計画費	12億4,506万円
河川費	4億1,736万円



急傾斜対策事業

みどりの基本計画に基づく整備

みどり幼稚園跡地の公園化整備については、造成工事に着手します。また急傾斜地崩壊危険区域の対策工事を進めます。

公債費 10.4% 43億2,110万円

公債費	43億2,110万円
-----	------------



一般会計市債借入残高の推移

市債の返済の推進

歳出総額の10.4%にあたる費用を市債の返済に充てていきます。

特別会計 209億3,621万円

国民健康保険事業特別会計	89億9,986万円
介護保険事業特別会計	93億6,544万円
後期高齢者医療事業特別会計	16億5,176万円
その他3特別会計	9億1,916万円

公営企業会計 226億3,678万円

水道事業会計	20億5,021万円
病院事業会計	191億4,922万円
公共下水道事業会計	14億3,735万円

※ 1万円未満は四捨五入で表記

給食の原材料費の価格高騰は今後の課題である

令和6年度 一般会計予算

●学校施設の維持修繕

Q 議会から提言した学校施設の維持修繕のための予算確保について、令和6年度当初予算への反映状況はどうか。

A 小学校施設管理経費と中学校施設管理経費の修繕費と工事請負費の総額は、前年比で4800万円の増額となった。内容は、五和小学校のグラウンド整備、第二小学校のトイレ改修工事、北部4小学校のリースエアコンの移設工事などである。規模が小さい工事に対応するための修繕費は、小学校は160万円の減額、中学校は110万円の増額となった。

●安全安心な学校給食の提供

Q 議会から提言した学校給食の価格高騰分を市が負担することについて、令和6年度当初予算への反映状況はどうか。

A 学校給食の原材料費の価格高騰分を市が負担することについて、令和6年度は国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する。しかし、令和7年度以降は、国の交付金の動向によって、給食費の値上げも考慮に入れないながら、総合的に判断する。

●重層的支援体制整備事業

Q 今後のスケジュールを伺う。

A 包括的な相談窓口は、令和6年度の秋に設置する予定。また地域づくり支

援・参加支援については、重層的支援体制整備に係る検討委員会などで在り方を検討していく。

【解説】重層的支援体制整備事業とは？
地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、①相談体制、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施する体制を整備する事業。

常任委員会

●国民健康保険事業特別会計

Q 子どもの医療費の窓口負担を市が独自に減額することにに対し、国庫負担金が減額される部分について、一般会計から繰り入れを行っているか伺う。

A 令和5年度から、県の方針に従い、法定外部分について一般会計からの繰り入れは行っていない。

なお、令和6年度からは、国庫負担金の減額は廃止される。

●島田市災害見舞に関する条例の一部を改正する条例について

Q 国や県の制度の支援と、今回の見舞金は重複して支給されるか。

A 見舞金なので、重複しての支給も可能である。



質・量ともに安全・安心な給食の提供を

デジタル商品券は高齢者にも使いやすい説明を

令和6年度 一般会計予算

4年目以降は対象外のため、補助金メニューを探しながら進める。

令和9年度以降に札幌などを整備する予定である。

●森林環境整備促進事業

Q 令和5年度から改善した点は何か。

A 再造林の補助事業を検討し、森林環境譲与税を活用し植林がやりやすい事業を創設した。

●常任委員会

Q プラザおおるり東館入居予定の外郭団体について

A 令和6年度から、1階に市民が利用できるリーススペースを設置するほか、島田市国際交流協会、島田市スポーツ協会、島田市文化協会が入居する。2階は島田市シルバー人材センターが入居する。

●島田市人を大切にする経営大賞の選考について

8事業所から応募があり、大賞にナカダ産業株式会社が、特別賞には有限会社キムラ加工と株式会社関本管工が選ばれた。

●U-Jターン就職促進事業

Q 県外から学生を呼び込むとする事業だが、地元企業側の受け入れの取り組み状況はどうか。

A 志太3市や県とも連携して就職合同説明会などを行い、人材確保に取り組んでいる。

●みどりの食料システム戦略推進事業

Q 令和6年度以降の国からの補助金の額を伺う。

A 有機農業の実施計画を期間5年間として策定する。策定にかかる交付金として、令和6年度に1000万円、2年目に800万円、3年目に600万円を上限に交付される。

●プレミアム付きデジタル商品券事業

Q デジタルが苦手な方への対応はどうか。

A 高齢者などの不得手な方には、操作説明動画の作成や説明会を行うことで、PRを十分行う。

●川越遺跡整備事業

Q 事業概要を伺う。

A 令和6年度は川会所の移築設計を行い、令和7年度の移築を予定している。

●島田宿大井川越遺跡 街道舗装整備工事について

川越遺跡の街道舗装整備工事が完了した。道路330メートルを土色に舗装し、当時の景観の再現に努めた。車両の速度を減速させるための減速帯ランプを2か所設置したほか、川越街道すべてで法定速度を時速30キロ規制に変更した。



ランプを設置し土色に舗装された川越街道

積極的に島田市の魅力発信を！

令和6年度 一般会計予算

●シティプロモーション推進事業

Q 議会から提言したシティプロモーション推進事業の予算確保について、令和6年度当初予算への反映状況はどうか。

A 議会からの提言どおり、シティプロモーションに力を入れていきたいと考えている。令和6年度は、緑茶縁日実施経費として、1450万円を計上し、茶業の振興を含め、島田市がお茶のまちであることをPRしつつ、大井川流域の魅力を発信する。令和4年度以来2年ぶりに、7月に東京駅にて開催する。

●移住・定住促進事業

Q 議会から提言した移住・定住促進事業の予算確保について、令和6年度当初予算への反映状況はどうか。

A 島田市を紹介し、移住・定住につなげるためのYouTubeチャンネル、住んで島田の動画再生回数は、130万回を超えている。コンテンツを充実させ、さらなる魅力の発信に努める。

●消防団活動経費

Q 消防団員の確保のためには、活動の負担の軽減が必要である。静岡県消防協会との調整などを求める。

A 操法大会などの訓練について、出場までにかかりの時間を要しており、負

担が大きかったと認識している。令和6年度以降については、ブロックごとに出場する形に変更するため、操法大会に対する負担は若干少なくなる

と想定している。ただ、訓練を通じて、消防ポンプ車の取り扱いや消火方法を身につける意味もあることから、今後も静岡県消防協会を通じて考えていきたい。

常任委員会

●島田市印鑑条例及び島田市の手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードに入っている電子証明書をスマートフォンに搭載することで、印鑑証明の申請をマイナンバーカードのみで行うことが可能になる。

●旧金谷中学校跡地活用事業

事業者は、県の開発行為の手続きをはじめ、事業に伴う許認可手続きを進める。市は事業者と随時意見交換し、周辺環境の整備などの支援を行う。



多くの来場者があった令和4年度の緑茶縁日

市長に質す！

一般質問



市の方針や市民の皆さんの生活に関する内容全般について、市議員が市長や執行機関に質問することを「一般質問」といいます。

島田市議会の一般質問は、年4回の定例会で各議員による「個人質問」を実施しています。これに加え、2月定例会では会派の中から質問者を選び、代表して「代表質問」を実施しています。

一般質問は2方式から選択

- ① 一問一答方式…議員の質問と市長等の答弁を、一つずつ交互に行います。代表質問では60分以内、個人質問では50分以内で質問と答弁の双方を行います。
- ② 包括方式…議員がまとめて3回まで質問を行い、市長等もまとめて答弁を行います。質問時間は答弁を含めず、代表質問では40分以内、個人質問では30分以内で質問を行います。

（本会議の動画は、インターネットの録画配信で！）

島田市議会 映像

検索

QRコードから、当日の様子をご覧いただけます。

代表質問

（一問一答）

令和6年度の 市内経済施策を問う！



清流の風
いしかわしん たるう
石川晋太郎 議員



Q 令和6年度は、中小企業者等燃料価格高騰対策給付金事業が予算計上されていない。今後、弾力的な対応が必要だが、除外した理由を伺う。

A 申請数の減少、国のガソリン高騰に対する補助の実施も判断要素となった。国・県の支援の動向も考慮しながら、直接的支援から、経済効果が広がる支援にかじを切った。

Q 創業や第二創業は、雇用の創出、イノベーション促進など、地域社会の持続的発展に欠かすことができない要素である。販路開拓をはじめ、現行の補助制度の要件緩和も含め、力を入れていただきたい分野と考えているかどうか。

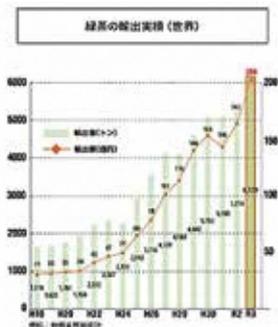
A 今後も補助制度と併せ、専門家による個別相談やセミナーなどを実施していく。

Q 国は2030年に農林水産物などの輸出額5兆円規模を目指すとし、さらには、茶を輸出重点

品目に位置づけていることから、市内の茶輸出にとって大きなプラス材料である。施政方針では、有機農業の産地づくりに取り組むとのことだが、令和6年度は、有機農業実施計画の策定を経て、オーガニックビレッジ宣言をする流れとなるか。

A 国は、オーガニックビレッジ宣言を条件としている。そのスケジュール感で進めていく。

緑茶の輸出実績（世界）



緑茶の輸出額は顕著な伸びを示している

代表質問
(一問一答)

令和6年度の
取り組みを問う！



創造島田
しみずただし 議員



- Q** 重層的支援体制整備事業における重度心身障害者・障害児への支援はどのようになるか。
- A** 支援者が包括的に連携し、本人だけでなく、家庭で抱えている課題の支援につなげていくことができる。
- Q** 要望がある長期休暇中の放課後児童クラブの体制変更はあるか。
- A** 保護者が安心して働ける環境整備のため、開所時間を30分前倒し、7時半から受け入れる。
- Q** シティプロモーションとして東京駅で開催する緑茶縁日の新たな取り組みは。
- A** 島田市を体感できる演出に加え、観光案内や移住相談、ふるさと納税などの広報プロモーションの展開を考えている。
- Q** 令和7年開催予定の地紅茶サミットへの支援体制の考えは。
- A** スムーズに開催できるよう、会場や開催日など、実行委員会の意見を尊重しながら協力していく。
- Q** ベースロード電源として重要な原子力発電所の再稼働の考えは。
- A** 原子力災害発生時の安全・安心な避難誘導手段が確実に担保されなければ容認できない。
- Q** 新しい公共交通への取り組みは。
- A** デジタル技術を活用したデマンド交通など調査・研究している。
- Q** 大井川鐵道の復旧の動向は。
- A** 関係団体が検討しているが、財政負担が課題となっている。



全線開通が求められる大井川鐵道(合格駅にて)

代表質問
(一問一答)

災害時協力井戸確保
井戸掘削費事業化へ



緑風しまだ
むらたみづこ 議員



- Q** 災害時の生活用水を確保するために、災害時協力井戸登録制度の導入について伺う。
- A** 市内にある160の井戸を所有している事業者などと協定を結び、家庭用の井戸は地域で共助が図れるよう自主防災組織などに井戸の把握を促していきたい。
- Q** 災害用井戸掘削経費の助成は。
- A** 自主防災組織が、災害用井戸を公会堂などに設けるならば、自主防災組織育成対策補助金の対象事業として調査し、補助上限や時期などを精査していきたい。
- Q** 避難所の専用スペース確保はどれくらいできているか。
- A** 原則は全ての避難所で確保すべきことだが、避難所運営マニュアルが確認できる24か所のうち22か所で記載されている。
- Q** 社会的弱者に対して困り事などのアンケート実態調査の考えは。
- A** 災害時における要配慮者のニーズ調査は避難所運営において重要であるとの認識は持っており、考えていきたい。
- 社会的弱者の視点を**
- Q** 避難所において社会的弱者に対して配慮すべき事項と課題は。
- A** 一般避難者と別に専用スペースや部屋を確保する。要配慮者の方は、年齢や障害の種別、程度、体調など、個々の状態により異なり、配慮すべき事項が多岐にわたることが課題である。



来る6月改訂版防災ガイドブックを配布予定

代表質問

(一問一答)

シティプロモーションの
成果・検証を！



島田市民会議
もり しんいち 議員



Q シティプロモーションの意義は何か。

A シビックプライドの醸成や本市のファンを獲得することである。

Q 島田市を認知し、興味・関心を持ってくれた人たちにに対し、どのような行動を期待するか。

A 本市に観光に來たり、ふるさと納税をしたりするなど、実際の行動によって本市との関係を構築することを期待している。

Q 目標に対する結果を検証する必要があると思うが、いかがか。

A 市民意識調査で、島田市のごとが好きかという質問を設定している。このほかにも、有効な検証を行うことのできる指標を設定することによりシティプロモーションの効果測定を行うことは、重要であると考えている。

浜岡原発は廃炉に！

Q 浜岡原発について、再稼働中止はもちろん、廃炉にすべきだと思いが、市長の見解はいかがか。



島田駅北口の看板

A 令和5年の市民意識調査や経済団体の要望などから、原発を活用する意向が強まっていると感じる。浜岡原発について、中長期的には廃炉が望ましいと考えているが、国の原子力政策に関わる重大案件であり、今後の動向を注視していきたい。また発災時の市民の安全・安心な避難誘導手段が担保されるまでは、再稼働は容認できない。

代表質問

(一問一答)

施政方針と予算大綱の
具体策は何か



日本共産党島田市議団
よつ やめくみ 議員



Q 人口減少に歯止めが掛からない。特に中山間地域の少子高齢化は深刻。北部地区では、過疎化に拍車が掛かり、一部小学校が閉校した。市の少子化対策の具体策は何か。

A 子育て世帯が安心して子育てできる環境づくりを行っている。島田市版ネウボラ、しまいく+^{プラス}など、伴走型支援を行っている。

Q 重層的支援体制整備事業とは何か。

A 現状の属性別あるいは縦割りの支援体制では対応が困難となってきたことを踏まえ、令和3年4月に改正された社会福祉法に基づく地域共生社会の実現に向けた取り組みである。分野を問わない相談支援、参加支援、地域づくり支援などを一体的に行う。

Q 経済基盤づくりの一環と位置づけている茶業の振興状況は、茶農家の高齢化に伴い後継者不足となっている。既に市内には閉

鎖された茶農協もある。茶の普及の状況はどうか。

A 関係団体では茶に親しんでもらう取り組みを、市では茶のPRのため首都圏でのアンテナショップ出店などを実施している。

Q 施策の効果の見える化が必要と考えるが、島田市の荒茶生産高の把握はできているか。

A 荒茶の生産高は、流通が複雑多岐で把握できていない。



茶業の振興を目指す取り組みを

代表質問

(包括)
地域共生社会の実現と
新たな地域づくり



輝く島田
あまのひろし
天野 弘 議員



Q 川根町との合併以降の民生費の推移と、2040年に予想される民生費の予算額は。

A 合併後の16年間で約2倍の147億円に増加した。2018年度と比べ、約1・6倍になる見通し。

Q ひきこもりや生活困窮などの複雑化した課題への、今までの取り組み状況は。

A 関係機関との連携により取り組んできたが、課題も多かった。複雑化した社会問題に寄り添い支援する、重層的支援体制整備事業が段階的に始まる。具体的な取り組み、予算・組織を伺う。

Q 本年1月に庁内に検討委員会・作業部会を設置した。令和6年度は福祉課職員の増員、予算240万円を計上し、包括的な相談支援体制を構築する。

Q 複雑化した問題には伴走型支援が求められるが、その対応は。

A 専門性を生かしたチームで対応する。



市民に寄り添った相談窓口

Q 重層事業において地域づくりは重要。新しい地域運営組織づくりに取り組む考えがあるか。

A 同組織の設立には、地域が覚悟を持って取り組む必要がある。現在、ワークショップを地域と行政で行い、意識醸成と合意形成を進め、人材の育成を図る。

Q 市長が描く地域共生社会とはどのようなものか。

A 地域住民が問題を我が事とし、丸ごとつながる社会である。

個人質問

(一問一答)

命を守る！
地域防災計画



やぎのぶお
八木伸雄 議員



Q 災害が起こるたびに行政の避難情報に批判が起きる。近年の異常気象は想定外の豪雨や、発生確率の低い地域での地震災害など、予測不可能な災害が起きることが当たり前となった。災害が変化していること、自身を守る防災知識の普及が急務だ。防災教育はどうか。

A 自分の命は自分で守ることに尽きる。住民自ら気象情報などの収集に努め、避難情報発令の際は直ちに避難してほしい。

Q 能登半島地震の死者の9割が建物倒壊によるものだ。住宅耐震化率は90・7%だ。目標の95%以上を目指してほしい。

A 予算の範囲内ではあるが、防災ベッド、耐震シェルター、家具転倒防止工事などと併せ、市民に周知していきたい。

Q 総合医療センターは、南海トラフ地震でも建物・医療機器の被害はないと思われる。しかし、周辺は液状化や、震度7の想定箇所がある。ライフラインが被災した際の機能維持はどうか。

A 災害拠点病院として、自家発電の燃料、医薬品・食料・水などを3日分備蓄している。

Q 市内にヘリの離着陸ができない地区が25か所ある。食料輸送や人命救助など、自衛隊と情報交換すべきではないか。

A 市内での活動拠点の確認や、防災訓練など連携している。



耐震シェルターおよび耐震ベッド

個人質問
(一問一答)
市民目線の政策と
住みやすくする方法は



さげさかだいすけ 議員
提坂大介



Q 外国人との多文化共生に基づく施策は市民が望んでいるのか。

A 多文化共生については市民意識にも表れており、必要な取り組みである。

Q 我が国日本はご先祖様が次の世代のために残してくれた。外国人を呼び込むために私たちが合わせるのをおかしい。海外から来る人に日本を理解してもらったのが本来の多文化共生ではないか。

A これからも外国人労働者は増えていく。選ばれる島田市になるために、外国人で働いてくれる人の生活環境も考えていく。

Q 焼津市は100億円を超えた。島田市も本気でふるさと納税を進めるために組織改正でふるさと納税課を作ってほしい。

A 4月から広報プロモーション課を設置し、ふるさと納税と移住・

定住の担当部署を併せる組織改正を行う。

Q 定住人口を増やすには人口流出しない方法を考える必要がある。地域の偉人を伝えることで、地域への愛着や誇りが自己肯定感につながり、地域のために生きていく心となり、定住につながるかと考える。

A 増田五郎右衛門氏、中條景昭氏、長谷川藤兵衛氏など、学校の中で大切に指導していく。



東町八幡神社にある増田五郎右衛門氏慰霊碑

個人質問
(一問一答)
地域経済を發展させる
市の取り組みは！



そねたつひろ 議員
曾根達裕



Q コロナ禍から始まった市の経済対策についての総括を伺う。

A 令和2年度から5年度までの4年間に、経済対策に要する経費として11億3600万円を投じた。このうち、LINEクーポンなどの事業により、事業者と市民が広く恩恵を享受できたことを認識している。

Q 当市の今の経済状況についてどのように分析しているか。

A 景況判断を示すDIは0であり、コロナ禍前のマイナス21を踏まえると、総じて回復基調だ。

Q 地域固有の課題を踏まえ、今後どのように取り組むのか。

A おびサポでの個別相談、セミナー交流会での情報提供、国などが補完できない補助制度などで支援していく。

農地基盤整備事業の取り組み

Q 市は農業と農地についてどのような施策に取り組んでいるのか。
A 農業経営の効率化や生産性の向

上を目的に、基盤整備や農地中間管理機構を活用して担い手への農地の集積・集約化を進める。

Q 地域計画でアンケート調査を実施しようだが、どのような意見が出ていたか。

A ほとんどの地域で、機械化が可能となる農地の基盤整備が必要との共通した意見があった。

Q 将来の農地に対する方針を伺う。
A 集積・集約化を進めていきたい。



茶園の基盤整備

個人質問
(一問一答)

減らそう。食品ロス。



よこたがわまさひと 議員
横田川真人 議員



Q 当市は食品ロスについてどの程度の問題意識を持っているか。

A 大量の食品が廃棄されている現状は大きな問題である。

Q 現在取り組んでいることはあるか。

A フードバンク活動や学校教育の中で啓発を行っている。

Q 国では3010運動を推進している。島田市ではやっているか。

A 外部に先駆けて市の職員に呼びかけている。今後市民向けに啓発する。併せて、安心して持ち帰りをお願いできる店であるかを判別する表示として、mottotECO(環境省が提唱する、飲食店で食べきれなかった料理を持ち帰る行為の愛称)の普及もしたい。

Q 飲食店での持ち帰りには営業許可のほかに特別な許可はあるか。

A 持ち帰りに対して、新たな許可は必要ないと確認している。

Q こうした活動を推進するために食品ロス削減推進計画を策定し



家で消費しきれないものはフードバンクへ

てはどうか。

A 令和6年度に策定する一般廃棄物処理基本計画の中にきちんと位置づけていく。また令和6年度は、令和8年度以降の第3次島田市総合計画の策定準備を行う。その中でまずはしっかりと食品ロスに関しての記述を設けていくということから始めた。

個人質問
(一問一答)

子ども・若者施策は島田市に重要だ



おおいしせつお 議員
大石節雄 議員



Q 子ども家庭センターの対象となる年齢、条件は。

A 全ての妊産婦、子育て世帯、子どもを対象として相談を行う機関で、児童福祉法による対象年齢は0歳から18歳未満の児童。

Q 年齢(18歳)で区切るのか。

A 法律上、明確な根拠規定はない。国として18歳以上の若者も含めた支援対象を明文化する動きがあるので注視したい。切れ目のない支援が必要。相談者が抱える課題と、これに対応する課と連携していきたい。

Q 連携ということだが、どの機関が有機的に対応するのか。

A 福祉課、包括ケア推進課、長寿介護課、社会教育課などと連携・対応したい。重層的な支援体制整備事業により、複合的な課題、または間の課題を相談できる体制が強化される。

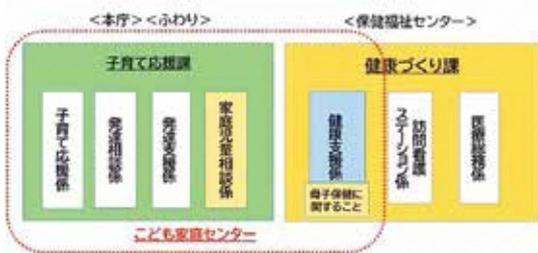
Q こども計画策定の進捗状況はどうか。

A 市内在住の就学前児童や小学生

のいる家庭、小学生や中学生とその保護者、高校生や若者などを対象に実態把握調査を実施している。令和6年度に新たな計画を策定する予定。

Q 島田市では子ども・若者基本条例制定の考えはないか。

A 条例を作らないとは言っていない。今、島田市子ども計画策定に全力を挙げている。その後に考えたい。



子ども家庭センターのイメージ図

個人質問
(包括)
能登の現地調査から
島田市の防災を検証



あおやままさとら
青山真虎 議員



- Q** 能登では新しい住宅も倒壊していた。静岡県の予測では市内の7500棟が全壊するとしている。2000年版の新耐震基準の補助が必要だ。国に要望すれば補助が受けられる。どうか。
- A** 制度的にはできるが、まずは1981年以前の建物の耐震化の事業を積極的に進めていく。
- Q** 応急危険度判定で危険と判断された、傾いた住宅で生活している被災者が多数いた。災害時、島田市の対応はどうするか。
- A** 建物に立ち入らないよう、ご理解とご協力をお願いしていく。
- Q** 輪島市では避難所の食事が有料化され、行政と被災者の間で争いが起きていた。当市はどうか。
- A** 避難所を閉鎖するまでの間、市の負担で被災者に無料で提供することが基本だ。
- Q** 珠州市では水道復旧の遅れから井戸掘削を被災者が行っていた。町内会単位の井戸が必要では。自主防を通じて確認していく。



能登で調査したことを地元防災に役立てる

- Q** まるで人が変わったようにリニア工事を推進している市長は、選挙の約束を守れているか。
- A** 水を守る考えに変わりはない。リニアによる市民の利益とは。
- Q** 新幹線の停車回数が増える。
- A** 将来的に市民に課せられる可能性のあるデメリットは。
- Q** 不確実性のリスクが考えられる。県と一枚岩ではなくなったが。連絡を取り合っている。

個人質問
(一問一答)
中学校部活、
地域移行はできるか



やまもとなかお
山本孝夫 議員

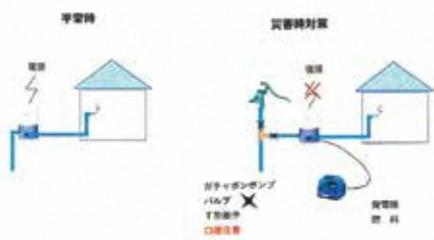


- Q** 中学校部活の地域移行に関して、令和4・5年度は何を行ったか。
- A** 市役所内の関係課で協議してきた。島田市新たな地域クラブ連絡協議会を設置した。またアンケート調査も実施した。
- Q** 課題となっていることは何か。
- A** 活動の受け皿となる運営団体や指導者確保が課題で、一足飛びに地域クラブへの移行は難しい。
- Q** 物事を進めるには準備期間が必要だ。令和9年度に移行するならば、少なくとも令和7・8年度にはプレ組織を試行してやってみるべきだ。これから令和6・8年度は何をやっていくのか。
- A** 休日の部活動地域化については、関係団体とできることから行っていく。文部科学省は令和9年度に絶対移行しろとは言っていない。目途と考えている。
- Q** 結局どこが中心になって進めるのか。
- A** スポーツ協会や文化協会がトツプになるのは難しい。当分の間、

教育委員会の学校教育課が中心になり事務局を担う。

学校に井戸ポンプの設置を

- Q** 災害時、学校は避難所となる。学校に水まき井戸ポンプの設置を提案する。配管を工夫することにより手でくめる。非常電源もある。どうか。
- A** 危機管理部と教育部で連携して考えたい。



災害時井戸ポンプイメージ図 (参考)

個人質問

(一問一答)

原子力災害広域避難計画の
実効性を問う



桜井洋子 議員



Q 先の能登半島地震で志賀原発に多くの被害が確認された。また

道路の崩落や亀裂、断層も動き大地震での避難の困難性を浮き彫りにした。ましてや南海トラフ巨大地震などの大規模災害となれば、幹線道路やアクセス道路の確保は困難で、安全避難はできないと考えるがどうか。

A 国および県の道路啓開計画に基づき早期に復旧し、避難のアクセスルートを確認することができ体制を作っている。

Q 余震が続く中、広域避難指示が出るまでの屋内退避は極めて危険。屋内退避を前提にした避難計画は見直すべきではないか。

A 原子力規制委員会は、能登半島地震で家屋の倒壊や孤立集落が多発したことを受け、最も有効に避難するために、開始のタイミングや範囲について再検討するとしている。市としては、国の動向を注視していきたい。

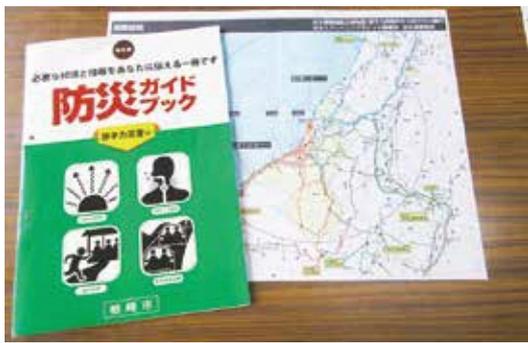
Q 福島県では原発事故以来、小児

甲状腺がんは、338人という。安定ヨウ素剤の事前配布が必要ではないか。

A 事前配布ではなく、効果的な服用時期を判断し、配布する。

Q 浜岡原子力発電所の再稼働を認めないことが一番の安全対策だ。市長の見解を伺う。

A 市民の安全・安心な避難誘導手段が確実に担保されていなければ再稼働は容認できない。



柏崎市 原子力災害への市民啓発ガイドブック

個人質問

(一問一答)

今こそ防災意識を
高めよう！



よこやまかおり 横山香理 議員



Q 昨年末に内閣府のモデル事業である、避難生活支援リーダー・サポーター研修を当市で実施した。災害関連死を減らすために、被災者とのコミュニケーションや、具体的に環境を改善するための知識・技術を習得することを目的に実施しているため、実践に即した内容の研修であるが、事前研修があり日程も2日間におよびハードルが高い。当市において、レベルダウンやオリジナルティを持たせた形で実施できないか。またどのように展開していきたいか。

A このような研修の必要性や重要性は理解している。今後は多くの市民に参加してもらえような研修プログラムを研究していきたい。被災者の困り事にいち早く気付くことこそが、災害関連死を減らす方策であることから、この研修を参考に当市での研修を検討したい。

Q 今後どのような観点に重きを置

いた訓練に取り組みたいか。

A 高齢者の避難生活訓練や、運営方法の検討が必要である。

Q 発災した際の避難所運営はどのように組織化されているか。

A 避難所運営組織の役員が主体で開設・運営に当たる。運営組織から避難者自身による運営に移行していく。派遣される市職員は情報の伝達・収集の業務を担う。



初倉小体育館で実施された研修の様子

声の議会だよりお礼訪問

島田高校生・島田商業高校生と島田市議会との意見交換

しまだ議会だよりは「声の議会だより」として目の不自由な方、文字による情報入手が困難な障害がある方のために、音訳したCDを配布しています。このCDの作成は、県立島田高等学校と県立島田商業高等学校の放送部にご協力いただき、市議会の情報をお届けしています。

今回、放送部の皆さんへお礼訪問しましたので、議会だよりを音訳した感想などをお聞きした様子をお伝えします。

島田高校

議会だよりについての感想

- 高校放送コンテストに出場する際の原稿を作成するときに、議会だよりの特集記事を参考にしたことがある。
- カラーページとそうではないページがある。ユニバーサルデザインにしてはどうか。
- 難しい言葉がある。注釈があると読みやすい。



学校生活について

多くの学生が使用する通学路上に、ミラーがなく死角になっている箇所があり、自動車と接触しそうになったことがある。危険を感じたことがある学生が複数人いた。



島田商業高校

議会だよりについての感想

- 文字が細く、目に留まりにくい。文字の大きさや色に強弱をつけると印象に残りやすいのでは。
- 全体的に内容が難しい。中・高校生向けのページがあれば若い人が読むのでは。

学校生活について

車道が狭く、自転車で通ると危険を感じる箇所がある。通学路に自転車専用道路があるといい。

意見交換会を終えて

議会だよりに対する高校生の意見は、議会だよりを編集する上で大変参考になりました。また学生生活において感じている意見は、市当局へ情報提供しました。

ご協力いただいた高校生ならびに学校関係者の皆様、ありがとうございました。



厚生教育常任委員会

令和5年10月16日

岩手県^{はなまき}花巻市

内容 就学前教育と小学校との連携について

就学前教育推進計画に基づき、関係機関の連携を強化するための合同会議や交流事業に取り組んでいます。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を共有し、幼児期教育の上に小学校教育を積み上げていくことを目指した取り組みが行われていました。



花巻市議会の議場にて

令和5年10月17日

岩手県^{とおの}遠野市

内容 重層的支援体制について

各地区センターに配置した「丸ごと相談員」が、自治会などの地域運営組織と連携し、相談支援と生活課題の解決を行っていました。

経済建設常任委員会

令和5年10月11日

福島県^{ふくしま}福島市

内容 新規就農支援（あぐりっしゅサポート）について

相談・体験・研修・営農・定着の各ステップで、必要な支援を提供しており、就農希望者の就農へのハードルを下げる効果および就農後の定着率を高めるために寄り添った内面的な支援制度が充実していました。



福島市の視察の様子

令和5年10月12日

福島県^{しらかわ}白河市

内容 小峰城整備事業について

整備事業と並行し、市民協働のイベントなどを開催して集客事業を行っています。またふるさと納税に絡めた政策も多く実施していました。

総務生活常任委員会

令和5年11月9日

長野県^{あずみの}安曇野市

内容 オンデマンドバス実証運行について（のるーと安曇野について）

令和4年1月から、新しいシステム「のるーと」を導入しています。それにより、配車ルートの作成などを、AIを活用したシステムで行えるようになりました。またスマホアプリなどからリアルタイム予約が可能になり、発着時刻が分かるようになるなど、利便性が大きく向上しています。

令和5年11月10日

長野県^{しおじり}塩尻市

内容 DX戦略について

行政DXと地域DXの両輪で自治体DXを推進しており、住民以外も含めた関係する地域のDX化も進めていくことが特徴です。視察当日にも路上で自動運転のバスが実証実験で走っており、このことから地域DXが大きく貢献していることを実感しました。



塩尻市の視察の様子

議会運営委員会

令和6年1月18日 長野県佐久市

内容 議員報酬の改定について

佐久市議会では、議員報酬の適正な額について、①活動量からの算出、②他議会との比較、③公務員との比較の3つの観点から調査・研究を行い、特別職報酬審議会から市長への答申に基づき、議会活性化特別委員会を開催し、議員定数の削減の検討を併せて行ったとのことでした。

議会運営委員会としては、今後、委員間討議、議員活動の実態調査、市民の皆様の意見などを踏まえ、報酬の改定についてどうあるべきかについて調査・研究を進めていく予定です。併せて、議員としての責任を果たせない場合における議員報酬の減額に係る規定の整備についても並行して取り組んでいく予定です。



佐久市の視察の様子

広報広聴特別委員会

令和6年2月5日 千葉県御宿町

内容 「若モノ×議会」まちづくりワークショップをはじめとした広聴活動について

御宿町議会では、令和5年7月に初めての取り組み「若者と議会との意見交換会」を開催しました。対象者は高校生から40代までで、17人の町民が参加。議員8人を加えた25人を5グループに分けて「若者が元気で活躍する御宿のまちづくり」をテーマに、ワークショップ形式でアイデアを出し合ったとのことでした。ワークショップのファシリテーターは、地方自治を研究する大学の教授と若者参加プロジェクトの活動家の2人が行っていました。視察の12日後には2回目の意見交換会を計画しており、準備中でした。若者との意見交換会による成果はあったとのことでしたが、参加者の確保には苦労しているように見受けました。

また2年に一度、中学生の模擬議会「御宿町中学生議会」を行っていました。



御宿町の視察の様子

令和6年2月6日 埼玉県所沢市

内容 高校生との意見交換会や議場コンサートなどの広報広聴活動について

所沢市議会では、特色ある広報広聴活動が行われています。議会報告会は年4回実施しており、1班当たり議員8～9人で構成した4班編成で行っていました。令和4・5年度の参加人数は1会場当たり30人程度で、会場はすべて所沢市役所、開催時間は2時間程度とのこと。寄せられた市民からの意見・要望にしっかり対応しているのが印象的でした。

また特定のテーマを設定し公開で行う政策討論会を年1回ほど開催し、議員間討議を通し政策立案に取り組んでいました。このほか議場コンサートや小学生を対象とした議場探検ツアーなども実施していました。

まとめ

視察先で取り組まれていた事例について、島田市議会でもできることから取り組んでいきたいと思いました。



ザッ 討論



市議会定例会最終日に行われた議案採決の前に、賛成・反対の意見を表明する「討論」を行いました。2月定例会では、4議案について討論が行われ、賛成・反対の意見が表明されました。

(((本会議の動画は、インターネットの録画配信で!)))

島田市議会 映像

検索



【議案第9号】令和6年度島田市一般会計予算

反対

大地震で市内7,500棟の倒壊予測が出ている。2000年新耐震化も必要。国に要望すれば制度的に補助が可能である。やるべき。

リニア工事について、市長は人が変わったように推進し始めた。オール静岡体制を破壊する発言。ボーリング調査は水抜きを兼ねている可能性がある。県と一体的な対応を求める。

当市における3月1日～15日の死亡者52人中、17人がコロナワクチン7回目を接種していた。市民の笑顔のためなら本当のこと言わないのか。

マイナンバーについて、最初の約束は？島田市だけでも紙の保険証を残すべき。

一般会計予算の問題点を指摘する。

①中部学校給食センターの調理業務を民間に委託することに反対する。子どもたちへの安全でおいしい給食の提供は、大事な公共公務であり、直営を求める。

②コスト削減の名のもとに、直営で行ってきた事業を民営化、民間委託、指定管理者制度導入、窓口受付等包括業務委託、PFI事業の導入など、公務の市場化を進めてきた。その結果、千人余の職員のうち4割が非正規職員だ。全体の奉仕者として業務の専門性や継続性、仕事の蓄積が必要な正規職員の確保を求める。

賛成

歳入では市税、法人市民税とも原材料価格の高騰などの影響を考慮し、前年度に比べ減収を見込んでおり、普通交付税なども国の地方財政計画を的確に捉えた計上である。市債は43%の減となり、財政の健全性に配慮している。

歳出は、統合後の稼働に向けた島田第一小学校改築事業予算や地域の魅力を発信する地域活性化シンポジウムなどの新規事業経費が計上されている。また制度や分野の枠を超えた困り事を包括的に受け止め支援する、重層的支援体制の整備に向け、包括的相談支援窓口やこども家庭センターの設置など、現下の課題への対応もされている。さらに、決算認定において議会から提言した、学校施設の維持修繕、安全・安心な学校給食の提供、移住定住促進事業の各事業についても予算措置されている。また行政業務において、会計年度任用職員の任用については、適正な市職員数の確保が必要となる中、適宜な会計年度任用職員の任用で対応することは妥当と考える。

新年度予算は、中長期的な視点に立ち、人、モノ、時間といった限られた資源について、最大限、効果的に配分し編成されたものと評価する。

【議案第13号】令和6年度島田市介護保険事業特別会計予算

反対

本特別会計予算は、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料引き上げの下に執行され、高齢者の負担が増えるため容認できない。内容は、保険料の所得段階別を11段階から13段階に増やし、基準を5段階月額5,000円とするもので、前期より値上げとなる。1から3段階の低所得者には軽減措置がとられているが、6段階から所得に応じて引き上げ、13段階目は基準額の2.1倍の保険料になっている。貯まっている支払い準備基金の活用で引き上げは抑えられたのではないかと、引き上げは認められない。

賛成

当市の高齢化率および介護認定率が高まる中、高齢者の医療・介護の諸問題が顕在化している。2025年には団塊の世代全員が後期高齢者になり、地域包括ケアシステムの一層の深化・推進が求められる。介護保険事業特別会計予算には、このような現状を捉えた上で、将来に向けて、当市が取り組むべき事業が十分に盛り込まれていると考えられる。また必要となる介護保険料は、法令に基づき算定し計上していることから、適正に編成された予算案と判断される。

【議案第15号】令和6年度島田市後期高齢者医療事業特別会計予算

反対

医療費の増加を理由に、75歳以上の後期高齢者医療保険料の大幅引き上げとなる予算執行は容認できない。内容は、所得割率を8.29%から9.49%に引き上げ、均等割額を4万2,500円から4万7,000円に引き上げるものである。一人当たりの平均保険料額は、前年度比1万118円の負担増となる。この制度は年齢で区切り、高齢者に負担増と医療差別を押し付けるものである。7回にわたる保険料値上げが繰り返され、高齢者の生活を圧迫している。元の老人保健制度に戻すべきと考え、反対する。

賛成

保険料率改定は、法律に基づき2年に一度実施されるもので、出産育児支援金の導入や後期高齢者負担率の見直しを反映して算定され、静岡県後期高齢者医療広域連合議会で議決されたものである。財源では、現役世代の負担が大きくなってきており、持続可能性の確保のため、負担能力に応じて、すべての世代で公平に支え合っていく必要があり、今回の改定はやむを得ないものと理解し、本予算案は適切と判断する。

【議案第25号】島田市介護保険条例の一部を改正する条例について

反対

令和6年度から令和8年度の65歳以上の介護保険料を定める条例改正に反対する。所得段階をこれまでの11段階から13段階に増やし、第5段階の基準月額を4,960円から5,000円に引き上げる。低所得者には軽減措置が取られているが、所得に応じて引き上げられ、13段階に至っては、基準額の2.1倍、年額12万6,000円となる。今回の介護保険料引き上げは、これまで貯められてきた介護保険給付費支払準備基金を取り崩せば引き上げの必要はないと考える。

賛成

今回の介護保険料の改正は、第9期島田市介護保険事業計画を進めていく上で必要なもので、制度の持続可能性を確保する観点から、保険料を被保険者の負担能力に応じて段階的に設定した適正なもの判断される。算定には、保険給付等支払準備基金の活用により、保険料の上昇を抑制し、低所得者層の減額化を図るとともに、高所得者を細分化することで所得段階を11から13段階へ変更し、被保険者の負担を軽減している。なお、基準月額は、他市町に比べて低い額となると見込まれている。

【採決結果一覧】賛成・反対の分かれた議案および請願の結果を掲載しています

○=賛成 ×=反対 △=棄権	氏名	石川	曾根	井上	横山	大関	大石	天野	藤本	清水	森	山本	横田	平松	桜井	四ツ谷	大村	村田	堤坂	八木	青山
		晋太郎	達裕	篤	香理	衣世	節雄	弘	善男	唯史	伸一	孝夫	真人	吉祝	洋子	恵	泰史	千鶴子	大介	伸雄	真虎
会派名		清流の風			輝く島田			創造島田	島田市 民会議	とわ 島の会	日本共産党 島田市議団	緑風 しまだ	無会派								
【議案第9号】 令和6年度島田市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×
【議案第13号】 令和6年度島田市介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
【議案第15号】 令和6年度島田市後期高齢者医療事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
【議案第25号】 島田市介護保険条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

※議長(藤本善男)は採決に参加しません。

※所属会派は令和6年3月27日時点

議会報告会・意見交換会を開催します

今回は、2月定例会での審議結果を報告します。このほか、会場別に意見交換会のテーマを設け、市民の皆さんと意見交換します。

事前予約は不要ですので、ぜひ、お近くの会場にお越しください。

日	時	場 所	意見交換テーマ
5月18日(土)	午後2時から	金谷地域生活交流拠点施設 かなうえる	あなたが望む かなうえる
	午後6時30分から	初倉公民館 くらら	小中一貫校の今後の在り方
	午後7時から	北部ふれあいセンター	北部4小学校の今後(地域の活性化など)
5月25日(土)	午後1時30分から	六合公民館 ロクティ	10年後の六合地区を考えよう
	午後7時から	川根地区センター ちゃくら	川根地域の課題 (災害対策、地域交通など)

※詳しくは、島田市ホームページをご確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

※駐車場に限りがありますので、乗り合わせなどでお越しください。

編集後記

議会だよりについて、市民の方から寄せられた意見に「外来語や片仮名表記が多く分かりにくい」とのご指摘がありました。同じ要望は、高校生と意見交換した際にもお聞きしました。スペースを工夫して、脚注のような形で補足説明ができるようにしていきたいと思います。

所管事務調査報告にあるように、2市町に出掛け、さまざまな取り組みをお聞きしました。島田市議会でもすぐ取り入れることができそうな内容もありました。広報広聴活動の改革を進めていきたいと思います。



埼玉県所沢市議会での所管事務調査

広報広聴特別委員会

- 【委員長】 森 伸一
- 【副委員長】 井上 篤
- 【委員】 横山 香理、石川晋太郎
大石 節雄、八木 伸雄

6月市議会定例会のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

※島田市議会では、地球環境の保護などを目的としてペーパーレス化に取り組んでいます。このため、本会議や委員会などの会議において、議員がパソコンを利用して議案等の書類を閲覧している場合に加え、質疑内容などをパソコンを通じて確認している場合があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

※水色のラインで示された日の本会議は、インターネットでの生中継を行います。

日	月	火	水	木	金	土
6/2	3	4	5	6	7	8
	議会運営委員会 本会議 (初日)					
9	10	11	12	13	14	15
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
16	17	18	19	20	21	22
	本会議 (一般質問)		本会議 (議案質疑) 予算・決算 特別委員会	常任・特別委員会 (午前・厚生教育) (午後・経済建設)	常任・特別委員会 (午前・総務生活) (午後・予備日)	
23	24	25	26	27	28	29
		予算・決算 特別委員会				
30	7/1	2	3	4	5	6
		議会運営委員会	本会議 (最終日)			

日程は変更となる場合があります。最新の情報は、ホームページまたは電話にてお問い合わせください。

☆開会時間は…

- 本会議、常任・特別委員会 (午前) 9:30から (6/20・21は9:00から)
- (午後) 1:00から (6/20・21は1:30から)